

現在、人々にその価値を見出だされずその結果、放置され荒れ果てている多くの森林があります。

それらのほとんどは高度経済成長にともなって起こった燃料革命以前、人々の生活の大部分を担っていた里山や戦後大規模に植林された人工林です。

しかし、そのような時代の移り変わりのなかでも森や自然と正面から向き合い、共に生きてきた“名人”がいます。今回のシンポジウムでは吉野林業の杉の種採り名人、杉本充さんをゲストとしてお招きし、名人の自然に対する思い、林業として森と接する生き方や名人の人生などを話していただきます。

この機会を通して、先人達が守り続けた森林や林業、自然と共に生きてきている名人や彼らの生き方を知り、その存在をもっと身近に感じてもらえたらと思っています。また、これから私たちが自然とうまく付き合っていく方法について、皆さんと共に考えていきたいと思っています。

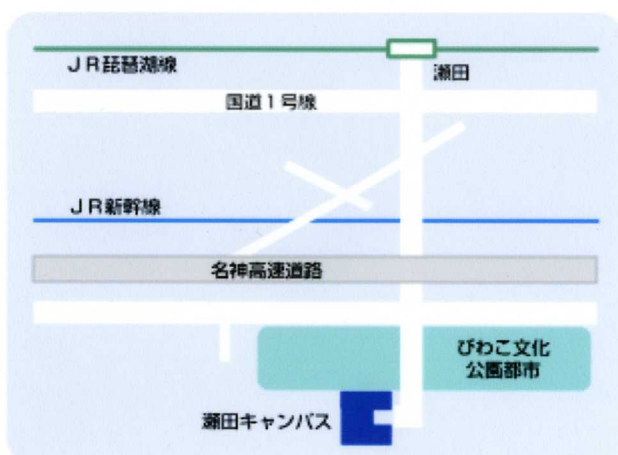
☆シンポジウムスケジュール☆

時間は前後する場合があります。予めご了承下さい。

- 12:30 開場
- 13:00 オープニング
- 13:15 特別講演 杉本 充氏(杉の種採り名人)
「森と歩む私の人生」
- 14:05 休憩
- 14:15 ゲスト講演 高橋絵里奈氏(京都大学フィールド科学教育研究センター研修員)
「木を選ぶ目を科学するー除間伐の選木名人埜忠一氏の人工林管理手法ー」
- 14:55 ゲスト講演 宮浦富保氏(龍谷大学教授 / 里山学・地域共生学 ORC センター長)
「日本の森の歴史と将来」
- 15:35 休憩
- 15:55 パネルディスカッション
コーディネーター：吉野奈保子氏(NPO法人 樹木・環境ネットワーク協会事務局)
- 17:00 エンディング

- 18:00 懇親会 ※自由参加(別途会費として500円が必要です)

会場までのアクセス



JR「京都」駅から JR 琵琶湖線 米原方面へ「瀬田」駅下車、
帝産バス『龍谷大学行き』乗車約8分

※ご来場の際は、公共交通機関をご利用下さい

